

別添6-5 (第3の2関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書 (令和2年度)

都道府県名 兵庫県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産GAP指導活動の推進	畜産GAPの取組みに関心のある生産者 11経営体	11経営体	100%	A	123,067	123,067	
II 日本版畜産GAP等認証の取得拡大	畜産GAPの認証取得を開始する生産者 1経営体	1経営体	100%	A	869,900	300,000	
<p>事業の成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>畜産GAPの普及を図るため、生産者に対して「畜産GAPをする」又は「畜産GAP認証取得」を推進する現地指導を実施したところ、11経営体が畜産GAPに関心を示した。うち1経営体は令和3年度に認証を取得すべく具体的な準備活動に入った。</li> <li>取組みを検討していた生産者が、JGAP認証取得を決意し、同一経営体の2農場で令和2年度中の認証取得を目指した結果、令和3年3月26日付けでJGAPの認証を取得した。</li> </ul>							
<p>都道府県による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>現状の畜産GAPを取り巻く環境下では認証取得による直接的な畜産経営体へのメリットが少ない中、認証取得作業を開始する経営体を確保し、年度内に認証を取得することができた。また、それに続く事例として、令和3年度内取得を目指して準備に取りかかった経営体もあり、おおむね順調に推進することができた。</li> </ul>							
<p>国による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2名の指導員の育成により、指導員は18名(令和2年度末現在)となり、県内の畜産GAP指導体制の強化が図られた。</li> <li>成果目標の達成状況は計画どおりであることから、畜産GAPの拡大及び推進に寄与したものと史料。</li> </ul>							